

大泉

新年明けましておめでとうございます

校長 中岡 盛一

皆様はどんな正月をお迎えになったでしょうか。本年も教職員一同一丸となつて、教育目標の具現化に向けて教育活動を進めてまいります。御協力と御理解の程、宜しく願っています。

年の初めに今年の目標や願い事をたてたり、書き初めをされたりした御家庭が多いかと思えます。学校ではお子さんの全人的な成長を目指して、知・徳・体のそれぞれに目標やそれを達成するためのめあて、スローガンをたてさせています。その中で一年中扱い、且つ重点的に取り組む月を決め、行っているものがいくつかあります。その一つに「思いやりの心を育てよう。」があります。いじめ、けんか、暴力すべてに関わってくるものです。一年間を通しては、大泉小十のルールにある「ホカホカ言葉を使う」の実施です。「ありがたう、大丈夫?など自分が言われたら心が温かくなる言葉を使っていきましょう。」と指導しています。その逆の相手を傷付ける「とげとげ言葉はやめましょう。」も一緒に指導しています。いじめ問題では、毎月末にいじめアンケートをすべての子供に行い、記入のあった内容を精査し、学年を越えて対応し指導しています。

<発行>
練馬区立大泉小学校
<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1
TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



重点的に取り組んでいるものに、十一月のふれあい月間があります。月曜朝会で校長からいじめや友達同士の付き合い方など講話を行い、それを受けて全学級で「いじめ撲滅宣言」の作成に取りかかります。今年度のものを紹介します。ホカホカことばをつかうとね、みんなのこころがポッカポカ!
一―一 はなしてみようじぶんのきもち、きいてみようともだちのきもち
一―二 みんなでなかよく親切にいじわるしないやさしい声かけうれしいね
二―一 がんばろう。ほかほかことばでみんななかよし
二―三 いじめはやめよう。天使の心を大切に
三―一 にこにこえがお、ほかほか言葉、やさしい心を大切に
三―二 周り見ていじめの心と戦おう
四―一 優しい心で両方注意
四―二 毎日をやさしい言葉でうめつくそう
五―一 暴力されたら、ふがしとほうれんそう
五―二 ぶらない、がまんしない、しかえししない
六―一 いじめつてなにかいいことあるのかな
六―二 たくさんの思いやりを大切に、仲間と共
六―三 なかよしだ、イガイガことばやめようよ

五組

1月の行事予定

- 7日(土) 冬季休業日終
- 9日(月) 成人の日
- 10日(火) 三学期始業式
安全指導・点検
- 11日(水) 給食始
- 12日(木) 身体計測(1・5)
身体計測(3・4)
委員会活動
- 14日(土) 道徳授業地区公開講座
校内書き初め展
3時間授業
- 16日(月) 身体計測(5・6)
- 17日(火) 社会科見学(5)
- 19日(木) クラブ活動
- 21日(土) 26日(木) 小学校連合図工展
- 24日(火) 社会科見学(4)
- 26日(木) クラブ活動
- 27日(金) 4時間授業
- 28日(土)・29日(日) 連合書き初め展
- 31日(火) いじめ調査
なわとび月間終

※「火災発生時に放送機器が使用不能」を想定した予告なしの避難訓練を行います。



《1月の生活目標》 「いとはづかいに 気をつけましょう」

新年を迎え、新たな気持ちをもってお過ごしのことと思います。今年も子供たちが安心して充実した学校生活を送れるように環境を整えていきます。環境の一つとして、言語環境があります。学校は学習の場というだけでなく、集団生活を通して、人と人とのかわりを学ぶ社会の場でもあります。人とのかわりをもつ上で欠かせないのが言葉です。言葉はその表現の仕方によって人を勇気づけたり、幸せな気持ちにしてくれたりします。その一方で、人を悲しませたり、傷つけてしまったりすることもあります。

学校では、言われた時に気持ちがあたたかくなる言葉を「ホカホカ言葉」、逆に言われた時にいやな気持ちになる言葉を「イガイガ言葉」として、日常的に意識づけるよう指導しています。

「ホカホカ言葉」が広がっていくことで、みんなが気持ちよく過ごせる環境ができます。学校でも家庭でも「ホカホカ言葉」をたくさん使っていけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

(長澤 拓哉)

道徳授業地区公開講座

一月十四日に道徳授業地区公開講座を開催します。この講座は、道徳の授業を保護者や地域の方々に広く公開し、学校における道徳のあり方や家庭・地域社会との連携について、相互の理解を深めることをねらいとしています。学校における道徳教育は人が一生を通じて追求すべき人格形成の根底に関わるものであり、その目的は一人一人が自己の生き方の指針を持てるように支援することです。自己の生き方は、人から与えられるものではなく、生きてく過程で様々な体験や経験を通して、自己への問いかけ、迷いながらも自分にとって最善の指針を見つけ出していくものです。本校ではその役割を担うべく日々の教育活動を通して道徳教育に取り組んでいます。

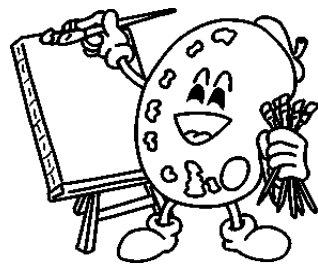
当日、二校時の授業公開では「豊かな心を育む」のテーマに基づいて授業を行います。授業をきっかけとして自己を見つめ直し、よりよい生き方を目指すきっかけとなるように指導していきます。また、三校時にはリオパラリンピック代表として卓球で活躍された岩淵幸洋さんの講演会も予定されています。「卓球から学んだこと」のテーマで講演していただきます。卓球を通して努力することの大切さや、夢の持つことのすばらしさなどを子供達にお話していただけたらと思います。是非当日は多数の保護者の皆様に参観していただきたいと思いますので、ご都合がよろしければお越しください。

(立田 康徳)

練馬区連合同工展

一月二十一日(土)～二十六日(木)〈開館午前十時～閉館午後六時※最終日は十二時で閉館〉(休館日二十三日(月))の期間、中村橋にある練馬区立美術館2階展示室において練馬区小学校連合同工展が開催されます。

「しなやかさと豊かさの造形へ」をテーマに区内全小学校の児童作品が広い展示会場にところせましと展示されます。会場は児童が心をこめて一生懸命取り組んだ絵や立体、共同作品でみちあふれ、児童のエネルギーがいっぱいになります。



本校からも一年生から六年生、5組の児童の絵や立体作品、共同作品を出品予定です。また、たくさんの学校の特色を生かしたテーマや表現の違いも見所の一つです。多様な表現のよさや違いを楽しむことができる練馬区連合同工展に是非足を運んでいただき、「豊かな子どもの世界」を堪能して頂ければと思います。

(和久井智洋)

書きぞめ展

書き初めは、一年の仕事始めの一月二日に、その年の抱負や目標などを書き、新たな一年がうまくいくように願う、という意味が込められた伝統行事です。近年では、その風習が薄れつつありますが、日本の伝統行事について知る、ということも一つの目的として、書き初めに取り組みます。

一、二年生と五組は硬筆、三年生以上は毛筆に取り組みます。学校でも十二月から練習を始め、三学期の始めに清書をします。今年の題材は、教科書巻末にも載っています。三年生「美しい心」、四年生「流れる星」、五年生「進む勇氣」、六年生「新たな決意」です。

それぞれの学年にそった目標はありますが、全学年共通目標である「文字を正しく整えて書く」ことを目指して、筆の持ち方や姿勢、文字の止め、はね、払い、折れ、結び、筆順などを中心に指導していきます。

本校では、一月十四日(土)から二十七日(金)まで、校内書き初め展が開かれます。各教室前の廊下に掲示させていただきます。是非ご来校の際にご鑑賞をかけていただけましたら幸いです。

また、一月二十八日(土)、二十九日(日)には、練馬区立練馬美術館二階にて、練馬区小中学校連合同書き初めの代表児童の作品が展示されます。是非、お出かけください。

(山中 麻衣)

一年生の様子

入学してから九ヶ月が過ぎました。一学期は、学校生活に慣れるのに精一杯の一年生でしたが、今では、ほとんどの事が自分の力でできるようになりました。給食や掃除当番・日直や係の仕事など自信をもって取り組む姿に逞しさを感じます。また、友達もたくさん増え、休み時間は、汗を一杯かいて仲良く遊んでいる姿に喜びを感じます。

二学期には、子供たちを更に大きく成長させた行事がたくさんありました。九月の「運動会」では、「かばちやパーティー」の曲に合わせて、元氣いっぱい踊る姿や真つ直ぐゴールを目指し五十メートルを走り抜いた姿が、今でも目に焼き付いています。十一月の「展覧会」では、どの題材にも意欲的に取り組み、平面作品は自分が一番気に入った一点を展示しました。また、紙粘土で作った「かお・かお・かお」では、自分そっくりの魅力的な作品に仕上がりました。十二月の「持久走記録会」では、たくさんの保護者の皆様に、温かい応援をしていただきました。毎日五分間走り続けてきた子供たちは、一日一日と持久力を伸ばしてきました。当日は、自身をもって完走することができました。

さて、いよいよ今日から三学期が始まりました。どの子も「今年頑張るぞ。」という意欲にあふれています。「もうすぐ二年生」をモットーに、一日一日を大切に過ごさせていきたいと思っています。今学期もチーム一年生をどうぞ応援してください。

(野口 美智子)